

- ☆第83回埼玉県中央メーデー開催
- ☆地域協議会メーデー、前夜祭開催
- ☆拡大執行委員会開催
- ☆政策懇談会開催/政権交代により実現・前進した政策・制度
- ☆エコライフ21
- ☆2012年度連合埼玉「男女平等月間」の取り組み / 「私の提言」募集 / 6月の行動日程
- ☆あけぼのビル



## みんなの連帯・連携で、笑顔が咲く!

### 第83回埼玉県中央メーデー開催

4月28日、さいたま市大宮区鐘塚公園にて第83回埼玉県中央メーデーを開催し、約5,200名のなかまが参加しました。今年のメーデーは、昨年の東日本大震災からの復興・再生、NPOや市民団体との連携・連帯をテーマに、メーデー式典、催し物、模擬店での販売物にいたるまで、被災地ならびに震災避難者支援を念頭においた構成で行いました。

小林会長挨拶では、「震災復興支援、勤労者生活、組織拡大の取り組み、政策実現活動、ワークライフバランス」についての重要課題5点について述べられ、「雇用状況改善」を訴えました。そして、これからの連合の課題と方向性についての考えが示されました。

小林会長の挨拶のあと、来賓を代表して上田埼玉県知事、宮本埼玉労働協理理事長、武正民主党埼玉県連代表の3名より挨拶をいただき、特に上田知事からは、連合埼玉が昨年12月より本年3月まで取り組みを行った「狭山茶購入支援活動」について触れられ、その活動に対するお礼とねぎらいの言葉を頂きました。

また、メーデー会場内では、県内避難者支援カンパを兼ねた模擬店での物品販売が行われ、「浪江焼そば」や「牛タン串焼き」のコーナーなどでは行列ができる盛況ぶりでした。加須市に避難中の方が作られた「味噌まんじゅう」は早々に売り切れるなど、災害被災地物産展も含め、参加者の皆様のご協力により、すべての商品を売り切ることができました。

模擬店の運営に被災地や県内避難者の方々も参加いただきましたが、皆さんの笑顔が印象的であり、協力頂いた各地域協議会の皆さんと連帯がはかれていたことが、とても素晴らしく思えました。

模擬店等での総売上金は988,923円となり、その内225,623円を県内避難者支援カンパ金とすることができました。

県内避難者支援カンパ金は、メーデー会場内の募金で協力を得た507,090円と模擬店売上からの寄付金ならびに、



メーデー式典

小林直哉  
連合埼玉会長上田清司  
埼玉県知事宮本重雄  
埼玉県労働者福祉協議会理事長武正公一  
民主党埼玉県連代表

狭山茶購入支援で寄付いただいた約210万円の合計、約280万円をその活動資金として活用していきます。メインスローガンである「日本全体でつながり・支えあおう!すべての働く者の連帯で働くことを軸とする安心社会を実現しよう!」を基本とし、サブスローガンである「率先して取り組もう!震災からの復興・再生」をキーワードに連合埼玉は、今後とも県内に避難されている方々が安心して生活ができる土台を築くため、取り組みを進めてまいります。



# 第83回 埼玉県中央 メーデー開催



司会:佐藤道明事務局長



司会:吉川和美さん(女性委員会)



メーデースローガン:小川由美さん(女性委員会)



被災地と避難者への応援メッセージ



狭山茶購入支援寄付金贈呈式



メーデー宣言:甘浦 大さん(青年委員会)



お楽しみ抽選会



ゴーカイジャーと握手!

## 出 展



ドリンクコーナー



牛タン串焼き



浪江焼きそば



被災地域の物産販売



味噌まんじゅう



埼玉県物産展

## 会 場



メーデー会場の様子



ステージのお花100円以上で先着販売



団結ガンパロー

## 地協メーデー・前夜祭 開催模様

### 秩父地域協議会

◆4月21日(土) 秩父ミュージックパーク野外ステージ

◆参加者:842名

◆式典、お楽しみ抽選会  
震災支援カンパ

◆4月とは思えない程の花冷えのもと開催された第83回秩父地域メーデーは、天気とは裏腹に参加した家族、子ども達の笑顔で満ち溢れていました。

今、働くことを軸とする安心社会実現に向けて、我々労働団体が果たしていかなければならない役割と責務を改めて考えるメーデーとなりました。



### 本庄・児玉郡市地域協議会

◆4月29日(日) 本庄市役所駐車場

◆参加者:469名

◆式典、アトラクション  
デモ行進

◆当日は前日の県中央メーデーに引き続いてよく晴れ渡り、参加者も前年比で約100名増加しました。

式典では推薦首長を始めとする各界来賓の祝辞を受けた後、メーデー宣言を採択し終了しました。

続いて、被災地東北地方の物産を中心に、今話題のお掃除ロボット4台が当たる抽選会を行い、大いに盛り上がりました。デモ行進では震災復興への取り組みを市民にアピールしながら、本庄駅までの約1kmを歩きました。毎年デモを行っているため、沿道の方にも関心を持って聞いてもらえました。



### さいたま市地域協議会メーデー前夜祭

◆4月26日(木) 市民会館おみや

◆参加者:175名

◆式典、アトラクション

◆来賓では、枝野経済産業大臣にお越し頂いたことで、会場は現職大臣の来場にどよめきが。原発問題を始めたとした現況報告を頂きました。また、アトラクションでは人気急上昇中の「梅小鉢」と「オテンキ」のお笑いライブを行い、会場は大きな笑いに包まれました。豪華賞品を取り揃えた抽選会では、女性司会者のお茶目な進行が大ウケ! 例年にも増して盛り上がりを見せたメーデー前夜祭となりました。



### 北埼玉地域協議会

◆5月1日(火) さきたま古墳公園

◆参加者:250名

◆式典、アトラクション  
震災支援カンパ

◆家族、子ども連れの来場者が多く見られ、組合員も参加しやすいメーデーが開催されたと思います。

式典ではメーデーの意義を再確認し、アトラクションでは輪投げ大会やピンゴゲーム大会など多くの参加者で盛り上がる事ができ、今後も続けていきたいと思いました。



◆5月1日(火)

羽生中央公園自由広場

◆参加者:350名

◆式典、抽選会  
震災支援カンパ

◆構成単組の中で、稼働日の企業もありましたが、例年並みの参加人数が集まり、式典も無事行われました。昨年は震災直後ということもあり抽選会等を最小限に控えましたが、今年は以前と同規模の諸準備を進め、例年並みの盛り上がりだった羽生メーデーとなりました。



## 下半期活動の心あわせ

～2012年度拡大(第6回)執行委員会開催～

5月9日(水)さいたま共済会館にて、2012年度拡大(第6回)執行委員会を構成組織代表者16名、地域協議会代表者13名の参加のもと開催した。

冒頭、小林会長より「栃木県・茨城県の両県で大きな竜巻被害が発生した。今後、危機管理の準備が必要であると感じた。2012春闘の県内の状況は、25%がまだまだ交渉中である。引き続き構成組織、地域協議会のサポートをお願いしたい。国会では、消費税増税を柱とした社会保障と税の一体改革関連法案が審議入りした。6月21日までの会期で、結論が見られるかどうか、非常に厳しい状況である。私たちが応援する民主党も、残念ながら一枚岩になっていないのが現状であり、政策懇談会などを通じて、組合員が今の国政をどう思っているか生の声を伝えていく」と挨拶がされた。続いて一般活動報告、運動方針の上半期の活動評価と下半期の活動に続き、上半期の予算報告、その他議案を含めて活動に対する活発な討議が行われ協議事項が満場一致で確認され、下半期活動への意思統一がはかられた。

### 主な質問・意見・要望

#### 雇用環境に対する取り組みについて

- Q. 女性を中心に、正社員からパートに雇用契約が変更させられるケースが増加している。実態調査や相談窓口を設置するなど対策等について検討してもらいたい。
- A. なんでも労働相談ダイヤル等において、労働条件の切り下げ等が相談されていることは認識している。実態を確認して労働政策委員会をつうじて対応を検討していく。

#### 地域社会と連携した取り組みについて

- Q. NPOセンターや各級議員と連携した市民活動の相談及び活動の支援とは、具体的にどのような取り組みをするのか?
- A. 従来の労働相談だけではなく、地域事務所で受けた生活相談(子育て、介護、多重債務、DV等)についても、NPOや推薦議員と連携し、専門家につなげていく取り組みを進めていく。

#### 人材育成と労働教育の強化について

- Q. 「組合役員教育プログラム」説明会(デモ講座)が、昨年12月19日に開催され約半年が経過した。本年度中に研修会を実施するにあたり、もう少しスピードアップが必要ではないか。
- A. 現在、基礎講座のテキストを作成中である。このテキストは、連合埼玉独自の分野であるため、ゼロベースで作成している。生まれも育ちも違ういろいろな組織があることから、テキストの内容が「合わない」ということも予想され、この偏りを最小限にするため、慎重に厳しくチェックしている。来週には出来上がるので、運営委員会で今後の展開等に関する論議をして、本年度中に基礎講座を実施していきたい。

#### 広報活動について

- Q. 連合埼玉のホームページに地域協議会の活動報告を掲載しているが、現状では写真は2枚までしか掲載できないので、掲載枚数を増やしてほしい。
- A. システム的な変更が必要であり、コスト面の課題を含め、より地域協議会の皆さんが報告しやすいよう検討していく。

#### 政治活動の強化について

- Q. 連合埼玉で推薦した議員や候補者の日常活動が見えてこないことから、さらなる連携強化を主導的に行ってほしい。
- A. 現職議員は連合埼玉議員会議等で活動レポートを各加盟組合に持参する等、見える化をはかっていく。元職や新人候補は、活動についてアピールする場が極めて少ないことから、連合埼玉政策研究会をつうじて連携強化について検討していく。同時に信頼関係を築いていくために、構成組織・加盟組合とのさらなる連携強化について伝えていく。このような活動を一歩ずつ積み上げ、組合員への理解活動が深まるよう取り組みを強化していく。

#### 様々な意見や要望が出されました。



平尾執行委員  
(電機連合)



横山執行委員  
(女性委員会)



小林執行委員  
(青年委員会)



朝霞・東入間地域協議会  
土屋議長



比企地域協議会  
岩山議長



会計監査報告をする  
佐々木会計監査  
(サービス・流通連合)

## 民主党政権に足りないこと、必要なこと。 組合員が望むことは？

～連合埼玉四役と民主党埼玉県連国会議員との政策懇談会を開催～

5月9日(水)、浦和ロイヤルパインズホテルにて連合埼玉四役と民主党埼玉県連国会議員の皆さんと政策懇談会を開催した。

冒頭、武正民主党埼玉県連代表ならびに小林連合埼玉会長から挨拶が行われた後、武正代表より民主党が抱える政策課題について、内容の説明があった。

多くの課題の中で、いま最も国民の関心が高い、税と社会保障について意見交換がなされ、税と社会保障の制度に付随するマイナンバー制にも議論が及んだ。懸念される点を洗い出し、国民に納得される制度を作りあげるとの回答を得た。

また、次期、国政選挙への対応について意見交換を行い、小林会長が現状の組合員から見た民主党に対するイメージについて言及し、「党内問題」、「マスコミ対応」、「組合員への対応」などを強力に推進することを要請した。特に、労働政策をはじめ、子育て世代への対応など重要な政策は推し進めているにもかかわらず、伝わっていないことが取り上げられ、民主党埼玉県連、連合埼玉ともに、広報活動への重点的な取り組みを行うことを確認し、閉会となった。



挨拶を行う、武正民主党埼玉県連代表

## 2009年8月の政権交代によって実現・前進した連合の政策・制度

### 子育てに重点を置いた税制改革が進み、所得再分配機能の強化がはかられました

- 税の所得控除から直接給付に変えることなど、子育て世代に配慮した所得再分配機能の強化のための税制改革が一步前進しました。2010年度税制改正において、15歳までの扶養控除をなくし、子育てをする世帯に直接給付する「子ども手当」が創設されました。また、16歳から18歳の子どもがいる場合、特定扶養控除(16歳から22歳までの子どもを有する場合に適用される控除)の上乗せ分を廃止し、高等学校授業料の実質無償化が行われました。これは民主党政権だからこそ実現できた政策転換です。

### 保育サービスの量的拡大など子ども・子育て支援環境の改善が進みました

- 保育所の施設整備費補助等に活用できる「安心子ども基金」の積み増しや実施期限の延長などを通じ、保育所整備が重点的に進められました。また、「待機児童解消『先取り』プロジェクト」が取りまとめられ、質の担保された認可外施設への助成などが実施されました。その結果、2011年4月1日時点の保育所待機児童数は4年ぶりに減少しています。

- 民主党政権は、子どもは社会が育てるとの政策へと大転換をはかりました。子ども手当が創設され、2010年度は、15歳以下の子ども1人につき月額13,000円の手当が所得制限を設けずに支給され、児童手当に比べ、子育て世帯の経済的負担が大幅に軽減されました。(2011年10月～2012年3月までは、3歳未満の子ども月額15,000円、3歳以上小学校修了までの子ども月額10,000円(第3子以降月額15,000円)、中学生月額10,000円。なお、2012年度以降については、「子どものための手当」への名称変更、年収960万円程度を基準とする所得制限の導入(6月以降)、3歳未満の子ども15,000円、3歳から小学校終了までの子ども10,000円(第3子以降15,000円)、中学生10,000円を支給することなどを盛り込んだ見直し案が2012年1月27日に閣議決定されました。)

(関係法制:「平成22年度における子ども手当の支給に関する法律」2010年3月成立など)

# 今年のは、オフィスでも節電の取り組み強化!

## ～「連合エコライフ21」運動 夏の取り組み～

連合埼玉では第6回執行委員会(2012.5.9開催)にて、今年のは場における「連合エコライフ21」運動の取り組みについて確認しました。

- ①地球環境保全に向けた取り組みであり、ライフスタイルの見直しなどを含めた、普遍的に必要な運動であること。
- ②今夏も電力需給余力が小さいことから、夏の節電を取り組む必要があるが、家庭内での取り組みについては、昨年冬での取り組みで節電意識が高まっていると考えられることから、オフィス分野の節電に特化する。
- ③今すぐ状況に応じて簡単にできるエコな取り組みであること。

などから、以下の3点を重点的な取り組みとして掲げました。

- ・「環境にやさしい10の生活」
- ・オフィス版「ピークカットアクション21」
- ・クールビズ


今夏重点取り組み期間は、2012年5月10日～10月31日です。皆さまの職場や組合事務所での掲示用にポスターを作成し、各加盟組合へ送付します。(2種類)

また、「ピークカットアクション21」名刺サイズカード(通称:ピークカット免許証)を全組合員に配布します。重点取り組み期間中のポスター掲示と合わせて、節電への意識向上をはかっていきます。

クールビズについては、この期間に連合埼玉が開催する諸会議は、基本的にはノーネクタイ・ノー上着での参加とし、上着・ネクタイが必要な場合は、案内文書にその旨を記載します。

※5月と10月は気温が低く上着が必要な日があると予想されるため、その日の気候や体調に合わせて判断し、その都度状況に応じて、できる範囲でクールビズへの協力をお願いします。

オフィスでの取り組みでは、行き過ぎた対応は禁物です。体調悪化などによる職場環境の劣悪化につながらないように、注意をお願いします。(例えば、エアコンは設定温度でなく、室温で28℃にするなど)ノー残業デーの設定や増日などの対応も、オフィスでの節電には有効と考えます。



照明

- 3 昼休みや未使用時の事務所・会議室・トイレなどのこまめな消灯を心がける。
- 4 LED電球への買い換えや、可能な範囲で電球の数の間引きを行う。

OA機器

- 9 省エネモードを設定し、未使用時には電源をこまめに切る。
- 10 プリンター等の共有機器の使用台数を、必要最低限にする。
- 11 最終退室者は共有機器の主電源を切って退社する。

空調

- 1 「エコスタイル」(クール・ビズ、ウォーム・ビズ※)を実践し、温度設定を控える(夏期:28℃、冬期:20℃が目安)。  
※クール・ビズ: 5～10月、ウォーム・ビズ: 11～3月
- 2 扉やカーテン・ブラインドの使用、扇風機の活用などによる空調の効率化をはかる。

冷蔵庫・自動販売機

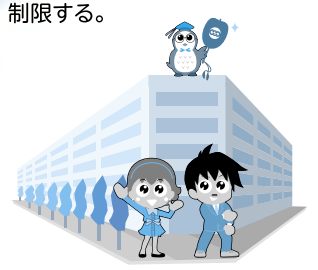
- 5 温度設定を控えめにする(強にしない)。
- 6 扉の余分な開閉をせず、開閉時間も短くする。

エレベーター

- 12 階段の利用を推奨し、エレベーターやエスカレーターの使用を最低限に制限する。

トイレ

- 7 温水洗浄便座の使用や、温度設定を控えめにする。
- 8 使用後は必ず保温便座のふたを閉める。



# 2012年度 連合埼玉「男女平等月間」の取り組み



目的	連合埼玉は、男女平等参画社会に関する組合員の理解を深め意識を高めることを目的とし、2012年度は次の取り組みを6月の期間に実施します。
実施期間	平成24年6月1日(金)から6月30日(土)
連合埼玉の取り組み	①男女平等月間のアピールポスターの作成 ②男女平等参画推進「トップ宣言」ポスターの作成 及び機関誌マンスリーへの掲載 ③「男女平等参画推進トップセミナー」の開催 開催日 6月25日(月)13:30～ 場 所 さいたま市・あけぼのビル501会議室

連合・教育文化協会共催  
**第9回**  
**私の提言**  
「働くことを軸とする安心社会」の  
実現にむけて  
**募集**

みんなで  
応募しよう!!

**応募締切** 2012年8月17日(金)必着

**表彰**  
 優秀賞 表彰盾と副賞 20万円(税込)  
 佳作賞 表彰盾と副賞 10万円(税込)  
 奨励賞 表彰盾と副賞 3万円(税込)  
連合第63回中央委員会(2012年10月3日)で表彰予定

**募集内容**  
 連合が第59回中央委員会で提起・確認した「働くことを軸とする安心社会」の実現につながる具体的な提言(オリジナルで未発表のもの)  
 \*6,000～8,000字程度(上限10,000字)

**応募資格**  
どなたでも応募できます。

**応募方法**  
電子媒体(E-Mailなど)による応募

**送り先**  
 社団法人 教育文化協会  
 第9回「私の提言」-「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて」募集係  
 〒101-0062  
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11  
 電話 03-5295-5421  
 E-Mail info-ilec@ebu.jtuc-rengo.or.jp  
 URL http://www.rengo-ilec.or.jp/

現在予定される6月の日程表です

6月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	金		中央労福協全国研究集会(14:00～ 2日・長野市)
2日	土		
3日	日		
4日	月		①北埼玉地域協議会組織代表者会議(14:00～・渋川市) ②連合関東ブロック「2012退職者連合代表者会議」(14:00～6/5 12:30・りんどう湖ロイヤルホテル)
5日	火	①第7回四役・執行委員会(日本郵政グループさいたまビル) ②女性委員会第4回幹事会(18:00～)	
6日	水		
7日	木		「埼玉高齢者雇用推進委員会」及び「シニアワークプログラム検討推進委員会」(9:30～11:30・埼玉労働局14階大会議室)
8日	金	①埼玉27連合第4回幹事会(12:00～・連合埼玉会議室) ②埼玉27連合第11回組織代表者会議(14:00～・あけぼのビル501)	
9日	土	2012年度「平和集会」(13:30～・マロウドイン 熊谷本館2F鳳凰)	埼玉教組「第24回定期大会」(9:30～・埼玉会議室)
10日	日		
11日	月		①第2回最賃担当者会議(13:30～・総評会館) ②第1回最賃全国学習会(14:30～・総評会館)
12日	火	①第1回メンタルヘルスセミナー(10:00～17:00・ときわ会館) ②埼玉シニア連合第5回チャリティゴルフ大会(上武ゴルフ場)	中小担当者合同会議(13:00～・総評会館)
13日	水		中央労福協「第6期労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」(13:00～ 15日・三島 東し総合研修センター)
14日	木		
15日	金		
16日	土		
17日	日		
18日	月	全国一斉労働相談(～19日)	
19日	火		埼玉労福協「第13次東南アジア視察団」結団式(17:00～)
20日	水		①連合関東ブロック「組織担当者会議」(10:00～12:00・連合本部会議室) ②地方連合会事務局長会議(13:30～・総評会館)
21日	木	①組織拡大研修会(10:00～・あけぼのビル) ②連合埼玉・一斉オルグデー	
22日	金	埼玉労働局との意見交換会(10:00～・埼玉労働局)	
23日	土	平和行動in沖縄(～6/25)	
24日	日		
25日	月	男女平等参画推進委員会主催「トップセミナー」(13:30～・あけぼのビル501)	西部第四地域協議会幹事会(18:00～)
26日	火	教育プロジェクト(13:30～・連合埼玉会議室)	
27日	水		
28日	木	第4回政策制度委員会(13:00～・連合埼玉会議室)	
29日	金		
30日	土		

# あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

## ◇今日までの組織拡大の取り組み

連合は5月17日開催の第8回中央執行委員会で、2020年までの8年間に及ぶ「1000万連合実現プラン」を確認した。連合は結成以来、組織拡大を重点課題と位置づけ取り組みを進めてきたが、連合組合員は結成時の800万人をピークに減少し続け、2011年末現在680万人となった。現在の「アクションプラン21」を展開してきた10年間の社会状況は、景気の頭打ちが続く中、正社員の定期採用の見送りや採用数の大幅抑制に組み込む企業が続発した。連合は2007年に非正規労働センターを立ち上げ、パートタイマー等の組織化に積極的に取り組んだ結果、133万人(含むパートタイマー42万人)の組織拡大を果たしたが、171万人の既存組合員が減少し、総数で38万人の減少となった。

連合埼玉の組合員数は2011年6月末現在で18.3万人であり、2008年6月末の19.3万人をピークにこの10年間は18万人前後を推移している。正規組合員が減少するなかでパートタイマーの組織化に力を傾注し、2002年に7千人であったパートタイマー組合員は、現在では2.7万人となり、この10年間で約4倍に拡大した。

組合員の減少に歯止めをかけることができなかった要因としては、日本経済や雇用情勢に大きく左右されたことは言うまでもなく、労働現場は厳しい社会圧力を受け続けた結果、企業の分社化や再編、海外移転や閉鎖などにより正規組合員が激減した。

加えて、非正規社員に対する組織化対応の遅れ、定年退職再雇用者に対する組合継続加盟への取り組み不足、組合への無関心層の増加、多様な雇用形態に対する組織化への対応不足、100人未満の中小地場の組織化への体制不備や役員力量不足等により、結果として組合組織の縮減に繋がったと考えられる。

## ◇「1000万連合実現プラン」の基本理念

こうした中、「1000万連合実現プラン」は既存組織の縮減要因を社会環境の変化にだけ求めるのではなく、すべての組織が組織化・組織拡大に積極的、主体的にかかわることが必要としている。これまでの組織拡大行動は、連合本部・構成組織・地方連合会が個々の枠組みの中で対応してきた。しかし、労働現場で起きている数々の問題を「より着実に」「よりスピーディー」に解決していくには、これまでの枠組みにとらわれることなく、各々の主体性を尊重しながらも、「新たな枠組

みによる」「新たな役割分担で」「新たな組織拡大行動」を展開していく必要がある。そのためには、連合本部・構成組織・地方連合会の三者が更に相互連携を強め、共同責任を持つ、という強い意識を持った一体的組織となって組合づくりに邁進していかなければならない。

構成組織の多くは、厳しい社会経済の中、組織拡大どころか、組織の縮減にいかん歯止めをかけるか、が最大の課題となっている。しかし、こうした厳しい状況においても、組織拡大は労働組合の原点であり、生き残り手段であることには違いない。既存組織の足元を固めることは重要であり、グループ企業や類似産業内の未組織、未加盟組合に対する組織拡大は、積極的に取り組んでいくことには変わりはない。

更に、持ち株会社、親子会社、関連会社、下請け、FC・代理店組織など多様化する企業形態、雇用形態に対応した組織拡大の取り組みも重要である。進展するグローバル化に対応し、多くの企業は持ち株会社化や企業の分割統治、資本関係は分離するものの運営面では一体化を図っていくという企業運営のFCや代理店運営など、多様化する企業運営に伴う雇用形態に対して、労働組合の基本機能である当事者自治能力が適正に機能していない労働現場が多発している。

加えて、中小地場組織への対応は重要な取り組みであり、中小地場企業に組合をつくり、集团的労使関係を構築することで連合運動の活性化を進めることとなる。その中心的な役割を担うのは地方連合会であることを忘れてはならず、機能強化は不可欠である。

## ◇「組織拡大」決意を新たに

言うまでもなく組織拡大は、労働組合の社会的影響力を向上させることでもあり、労働組合が掲げる社会像の実現には、高い組織率に裏付けされた労働組合の存在と力が不可欠である。

また、労働現場で起きるトラブルを個人で解決することは極めて難しく、労使自治を基本に、話し合いの中で問題を解決していく、という労働組合の役割と存在は、民主国家として最低限兼ね備えていなければならない社会的機能であり、このことは、国際社会の常識でもある。労働組合にとって、労働組合の無い職場に労働組合をつくるということは「労働運動の原点」そのものである。あらゆる職場に労働組合をつくり、労働現場で発生する数々の問題を自らの主体性の中で解決していく、ということの重要性を改めて再認識すべき時である。

連合埼玉も「20万連合埼玉」の実現に向けて、連合本部の方針に基づき、連合本部・構成組織・地域協議会と「新たな枠組みによる」「新たな役割分担で」「新たな組織拡大行動」に取り組む時である。

2012.5.28